

# 平成24年度学力向上に向けた取組

函館市立 中島小学校 学級数 9学級

視点1：アプローチの視点に基づいた、「組織的」で「つながり」（学びの連続性・学校内外の連携）をもった取組

重点教育目標

しっかり学ぶ子（学び続ける，ともに学ぶ）

A 各教科・領域等における系統性や、他の教科・領域等との関連に配慮する

B 長期的な見通しをもって、学習内容を確実に定着させる

C 校内研究の進め方を見直す

D 授業公開や外部への公開・発信を生かす

## 取組の概要

### 1 取組のきっかけ

昨年度は、国語科を通して「読む力」の基礎となる音読と読書への意欲の向上を図る研究に取り組んだ結果、すらすら読める児童が増え、キーワードを探しながら読み取る力が高まってきた。しかし深く読み取るなどの読解力に関しては、まだまだ個人差が大きい。そこで、今年度は「読解力を高める取り組みの充実」を研究の柱とし、研究を進めていくこととした。

### 2 取組の位置付け

教務研究部が中心となり、進めていく。

### 3 取組の方法

下記の3つの視点に注目し、各ブロック（低学年，中学年，高学年）内で、授業作り，授業研を中心とする授業者の決定，全学級公開授業のおおよその日程など，調整しながら研究を進めていく。研究授業にもかかわってくるが，普段の学校生活における「家庭学習の手引き配布による家庭学習の啓蒙」「寺子屋事業への協力」「放課後学習」「漢字検定」など，基礎的な学力の定着を図る取り組みを昨年度に引き続き継続し，読解力の向上につなげていく。

#### （1）研究の視点1

基礎的・基本的な知識や技能の定着に向けた授業作り

#### （2）研究の視点2

基礎的・基本的な知識や技能を活用する場の設定

#### （3）研究の視点3

日常の言語環境の整備

## 取組の成果と課題等

### ○ 取組の成果

本校の研究テーマ「読解力を高める取組の充実」に向けて、全教諭による公開授業を行ってきた。公開授業後の話し合いの時間を確保できない場合は、授業を見られた先生方の感想等をまとめた研究通信を発行配布し、紙面による交流を図ってきた。その研究通信を元に、ブロック内や職員間で適宜話し合う場を設け、授業改善に向けた取組が活性化された。今年度の研究成果については、職員間でまだまとめを行っていないが、少しずつ見えてきたことを下記に載せる。

#### 1 研究の視点1；基礎的・基本的な知識や技能の定着に向けた授業作り

- (1) 各学年の発達段階に応じた知識や技能を身に付けさせるためには、どの単元でどの指導事項を身に付けさせるのかをしっかりと確認し、どんな指導方法が効果的かを児童の実態に合わせながら工夫していかなければならない。また、当該学年だけではなく、各学年ごとの指導すべき内容を把握し、系統性を考慮しながら指導していく必要がある。
- (2) 授業公開では、言葉を大切にしながら文章を読み取る学習、段落相互の構成を考えながら文章全体をとらえる学習、読み取ったことを自分の考えに活用する学習など、効果的に読み取るための方法が工夫されていた。
- (3) 簡単に設置でき、すぐ操作できる視聴覚機器の活用が、学習内容や友達の考えを理解するのに十分な効果を発揮した。

#### 2 研究の視点2；基礎的・基本的な知識や技能を活用する場の設定

- (1) 読み取ったことを、ワークシートを使って深め広げたり、クイズを作成したり、自分の考えを文章として書いたり、絵に表したりなど、活用する場を設定することで、児童がさらに読み深めようとする態度が見られた。
- (2) 単元を貫く言語活動を効果的に行うためには、毎時間の学習をその言語活動につなげるためのものとなるように指導計画を工夫していくことが大切である。その際には、児童の実態や環境を考慮していかなければならない。
- (3) 児童相互の交流の場、自分の学習の振り返りの場、学習の見通しなど、相手や目的を明確にした学習活動の展開の工夫が大切である。

#### 3 研究の視点3；日常の言語環境の整備

- (1) 児童はもちろん、教師自らの言語環境を整えることで、言葉に対する注意力が高まり、正しく使おうと、調べたり人に聞いたりすることが出てきた。
- (2) 国語で学習した言語活動を、他の教科や実生活の中で活用することは十分ではないが、さまざまな方法で自分の考えを表現しようとする意欲は高まりつつある。

### ○ 教育課程検証の方法

#### 1 年間指導計画

- 他の学年とのつながりや1年間の流れが一目でわかるような各教科の一覧表の完成を目指しながら、中島小の実態にあった年間計画の改善に取り組んでいる。
- 総合的な学習の内容を、地域や児童の実態及び身に付けさせたい力を考慮しながら改善に取り組んでいる。

#### 2 学校評価

- 自己評価の項目を、児童による評価・保護者による評価・職員による評価で揃え、比較検討しやすくしている。

#### 3 学校行事と時数との関連

- (1) 行事の精選による時数確保。行事に向けての準備に関わる時数について精査し、時数の確保に向け、改善を図っていく。